

## 晩秋の嵯峨野路散策

平安時代の昔から、風光明媚な地として知られ、天皇や貴族が山荘を築き、古典文学にもたびたび登場した嵐山から小倉山へ、晩秋の嵯峨野路を散策しました。今回は、平家物語の女性たちの舞台となった跡を主に訪ねました。

実施日 2023年12月8日（金）

参加者 小林、菊池、高城、長谷川

企画・記録 長谷川

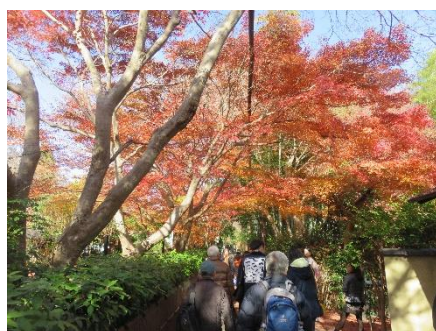
集合場所 阪急 嵐山駅 10時

行程 嵐山駅-琴きき橋跡-小督塚-（野宮神社）-（大河内山荘）

-常寂光寺-昼食-（落柿舎）-祇王寺。（滝口寺は都合で中止）



**琴きき橋跡・小督塚**／高倉天皇の寵愛を受けた琴の名手小督局は、天皇の中宮の父、平清盛の逆鱗に触れ身を隠す。局の行方を捜す家臣が、琴きき橋で局の弾く琴の音を聞く。ここから少し西に小督が隠棲したといわれる場所に小督塚がある。



**常寂光寺**／小督が高倉天皇を偲んで奏でたという車琴が収められている。小倉山の中腹に広がる境内は見晴らしが良く、多宝塔前からは京都市街が一望できる。

**祇王寺**／清盛に寵愛された2人の女性、白拍子の祇王と仏御前が祀られた尼寺です。祇王は、自らとりなしで館に上げた仏御前に寵愛を奪われ、館を追い出される。無常を感じた祇王は、妹や母とともに

に祇王寺で出家する。仏御前も祇王の哀れをかんじ、ともに出家する。

**滝口寺**／建礼門院に仕えていた横笛と恋仲になった宮中警護の武士、滝口入道が父に叱責されて出家した寺。横笛は入道に会いに行くが、会えずに追い返されてしまうという悲恋の物語。寺の参道には横笛が指を切った血で自分の思いを記したといわれる石が苔に覆われ立っている。

